



本学の教育システム

副学長（教育運営担当）
神田 学



東工大が目指す人材養成



卓越した専門性とリーダーシップを併せ持つ人材がより良い世界を創る

卓越した専門性



- 数学・物理学・化学・生命科学など理工系基礎科目の充実による徹底した基礎学力
- 世界最高水準の科学・技術分野での基礎学力・専門能力
- 科学・技術により新しい社会を拓く気概

リーダーシップ



- 専門に加え教養も含めた幅広い視野
- 異分野・異文化を許容し協調するためのコミュニケーション能力
- グローバルな課題へ挑戦する力
- 世界に雄飛する気概と人間力

東工大の教育ポリシー



学院制と一貫教育について

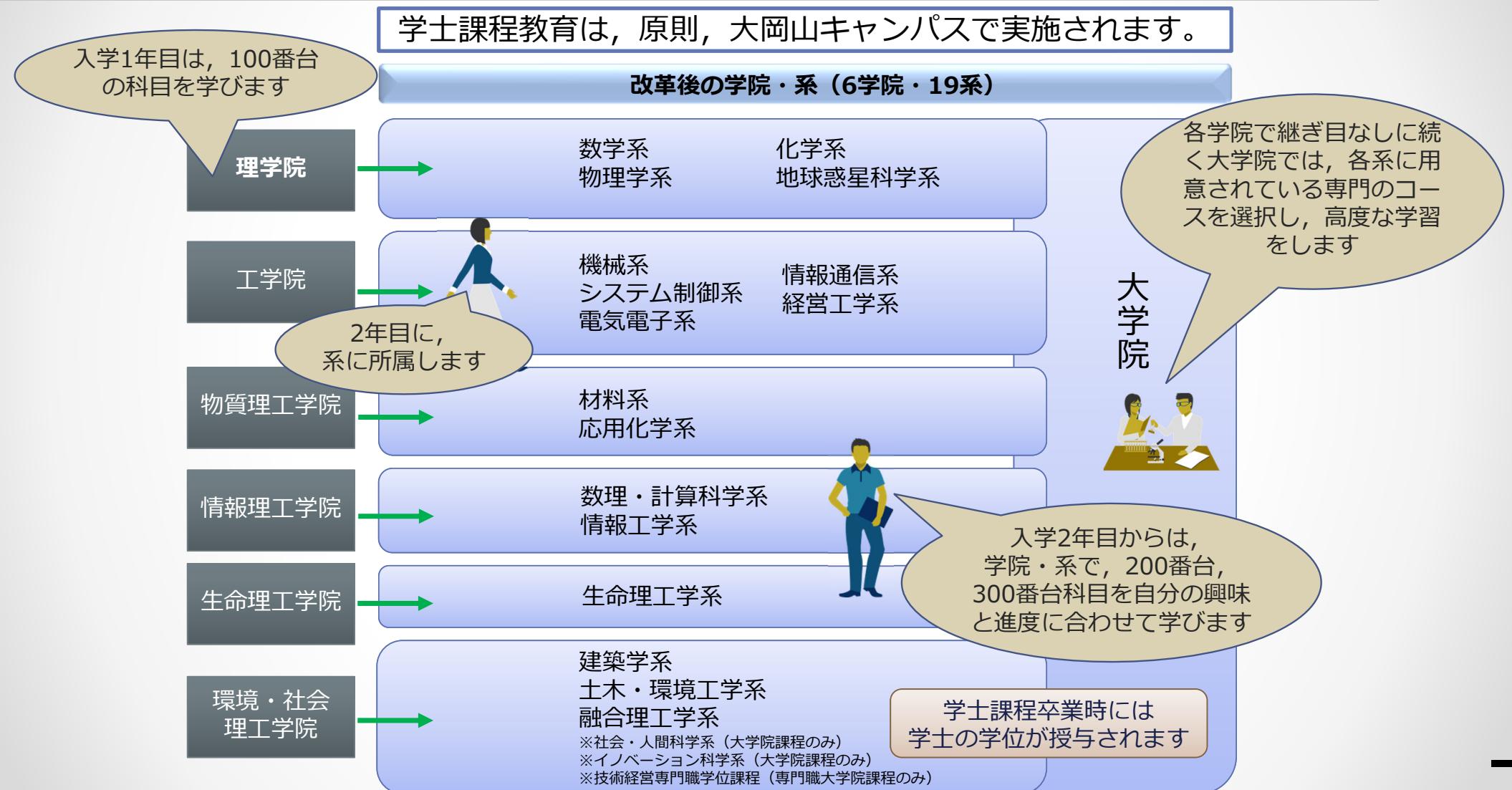
2016年に学部と大学院が一体となって教育を行う「学院」を創設し、
学士課程と修士課程、修士課程と博士後期課程の教育カリキュラムが継ぎ目なく学修しやす
いように設計された「一貫教育」を実施



学院所属	系所属	コース選択	
学院	学士課程 1年目	学士課程 2~4年目	大学院課程 (修士・博士)
A学院	A系		Aコース選択
	B系	初年次教育	Bコース選択
		B系所属	Cコース選択

- ・入学時から大学院までの出口を見通すことができる
- ・幅広い学修分野をカバーする系での基礎学修から、コースでの各専門分野へ

入学から系所属、大学院までの流れ



東工大の一貫教育の主な特徴

【年次】 【ナンバリング】



早期卒業

優秀でやる気のある学生は、学士課程を4年未満で卒業が可能です

ナンバリングと達成度評価

「何をどれだけ学んだかを基本」とします

研究室での研究プロジェクトへの参加、学士課程学生の修士課程科目の先取り履修など、修士課程との接続がしやすく一貫的な教育体系（修士→博士も同様）

くさび型教育

学士課程から博士後期課程まで、 教養教育と専門教育を有機的に関連させ、 知識や能力をスパイラルアップ

- ・リベラルアーツ研究教育院による大きな志を育てる教養教育
 - 学士課程1年次：東工大立志プロジェクト
 - 学士課程3年次：教養卒論
 - 修士課程1年次：リーダーシップ道場など
 - 博士課程学生：学生プロデュースなど
- ・充実した理工系教養科目
 - 数学、物理、化学、生命科学は必須
- ・大学院課程で必須のキャリア教育

多様な学修プログラム

四大学連合複合領域コース (1年次秋受付, 2年次~)

東京工業大学、一橋大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学

- ①海外協力コース 【東工大・医歯大・外語大・一橋大】
- ②総合生命科学コース 【東工大・医歯大・一橋大】
- ③生活空間研究コース 【東工大・医歯大・一橋大】
- ④科学技術と知的財産コース 【東工大・一橋大】
- ⑤技術と経営コース 【東工大・一橋大】
- ⑥文理総合コース 【東工大・一橋大】
- ⑦医用工学コース 【東工大・医歯大】
- ⑧国際テクニカルライティングコース 【東工大・外語大】

グローバル理工人育成コース (1年次秋受付, 4Q~)

学士課程/修士課程



B2Dスキーム特別選抜 (2年次春受付, 2年後学期~)

①2年次後学期
から研究開始

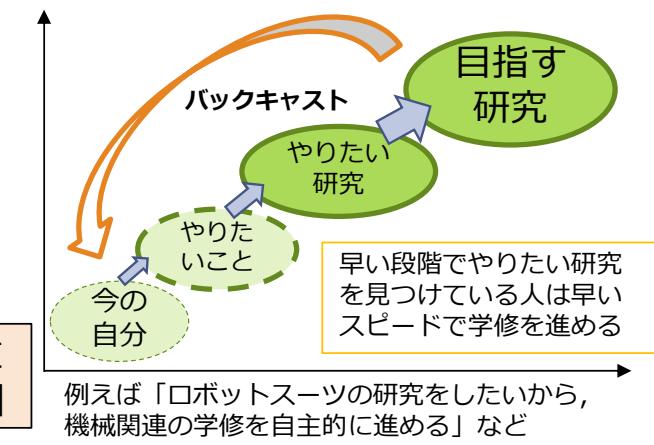
②希望研究室を
早く決められる

③通常とは異なる
カリキュラムも可能

④留学の費用援助

学士 (Bachelor) 2年次から
博士 (Doctor) 取得/進学を
目指す学生のための
本学独自のプログラム

やりたい分野を早めに
極めていくイメージ図



支援体制と学修ポートフォリオ



【学修コンシェルジュ】

東工大の学修について、アドバイスしたり、本学の教育体系・システムの目的を説明したりします。希望に応じて、適切な支援窓口も紹介します。
4月1週目にグループごとに学修ガイダンスを実施します。

【アカデミック・アドバイザー】

教員がアカデミック・アドバイザーとして、学生一人一人を担当します。成績や履修状況等を考慮しながら、相談や指導を行い、将来の夢や今後の学修計画の実現をきめ細かくサポートします。学院で担当教員が紹介されます。

【キャリアアドバイザー】

キャリアアドバイザーが、理工系である東工大生にあわせたキャリア形成の支援をします。

【教育革新センター】

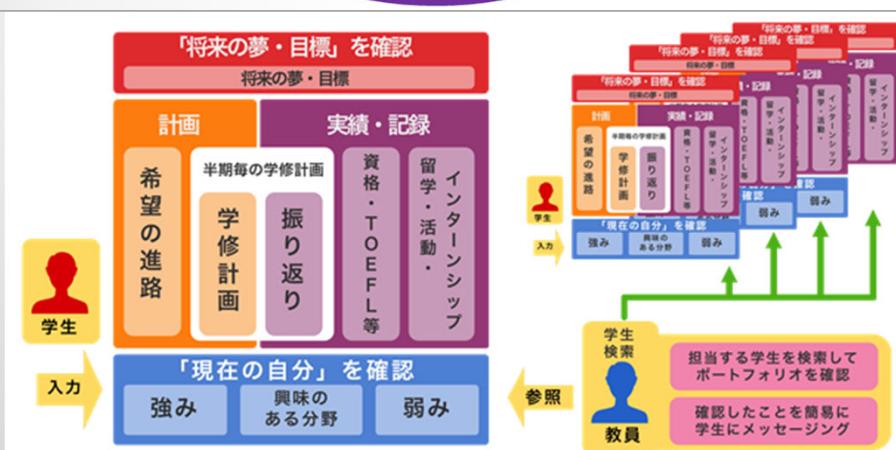
Teaching Assistant(TA)や、チューターとなるための学修支援をします。

【学生相談室・保健管理センター】

学生相談室は、どんなことでも気軽に相談できるところです。保健管理センターでは、心身の健康管理をサポートします。

【学修相談室・TA・チューター】

博士後期課程学生が修士課程学生を、修士課程学生が学士課程学生を教える、あるいは、同分野・異分野の学生同士が教え合う環境です。



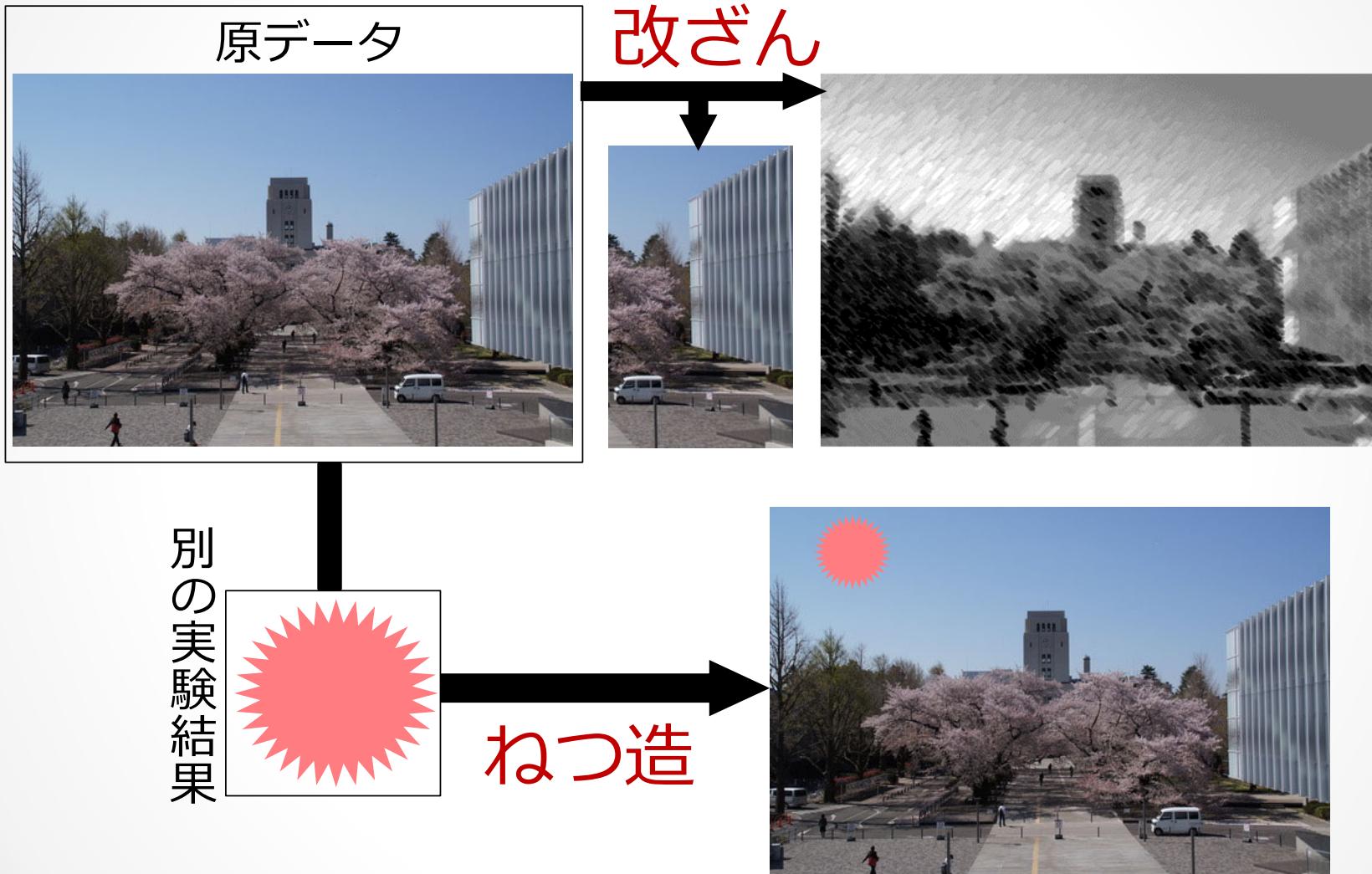
学修ポートフォリオとは？

学修過程ならびに各種の学修成果（例えば、目標、学修計画、留学等の活動記録、作成したレポート等）を収集し、記録したものです。

学修のプロセスを記録することで、自分がどのように成長したか把握ができる、これからすべきことは何かということも考えられます。また、就職活動時には大いに活用できます。

気づいた時や事あるごとに（忘れないうちに）、一つ一つ記録することが大切です。

さて・・・皆さんに注意喚起



研究倫理（研究の遂行や研究結果の発表において）

文部科学省、研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて 2014

対象とする不正行為は、故意又は研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる、投稿論文など発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造、改ざん及び盗用である（以下「**特定不正行為**」）。

ねつ造（Fabrication）

存在しないデータ、研究結果等を作成すること

改ざん（Falsification）

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること

盗用（Plagiarism）

他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること

授業の行為に当てはめると・・・

- ✓ 学生実験などにおけるデータをあったようにみせかける,
値を変えてしまう → ねつ造・改ざん
- ✓ 友達に代わりに授業に出席してもらう, 代筆してもらう
→ ねつ造
- ✓ 試験でのカンニング → 盗用
- ✓ レポートを作るときに, 他人の文章をコピペや加工して,
あたかも自分の意見であるかのようにする
(正しい引用方法に則っていない) → 盗用

ちなみに・・・

期末試験でカンニングペーパーや机上等へ予め記入してあるものを見るなどして解答した場合、及びしようとした場合は、不正行為となります。

レポートの盗用も試験のカンニングと同様

不正行為と認定された場合には、本学学則第44条による懲戒処分を受けることとなります。

また、不正行為のあった該当クオーターの成績は全て0点又は不合格、不正行為のあったクオーターとそれ以外のクオーターを含めて成績が評価される授業科目についても0点又は不合格となります。

自ら学び考える姿勢を身につけよう

- 専門だけでは足りない
⇒志とリーダーシップを培おう
- 修士課程から授業は英語で
⇒学士課程のうちに英語をしっかりと
- 3年生 2Qは必修科目がない
⇒短期留学をしてみよう
- 早期卒業制度を活用して研究留学を
⇒大学院までの学修プランを早めに